

第八回 荒川区区政改革懇談会

グループ討議会議録：萌黄

【日時】

1月11日(水) 19:00~21:00

【場所】

荒川区役所 304 会議室

【次第】

ステップ1：はじめに

ステップ3：その他

ステップ2：こうなって欲しいまちの姿や課題、
対応策を話し合おう

ステップ1：はじめに

コンサルタントより、前回までの話し合いの内容を確認し、今回の話し合いの主旨の説明がなされた。

ステップ2：こうなって欲しいまちの姿や課題、対応策を話し合おう

【安全なまちづくり】

道路整備について

- ・ 他地域の火事で道路が狭いため、救急車が入れなかったということを聞いたが、荒川区も道路が狭いので同様のことが起きないか心配である。
- ・ 昔からの都市事情で路地が多く、道幅が狭い。整備するにも地主の問題がある。
- ・ 火災時の対応として、狭い路地でも入れるように消防団は訓練しており、消火栓も整備されている。
- ・ 安全のため、まちの景観を守る意味でも、少しづつ時間をかけて道路整備を進め、広い道路を確保して欲しい。

防犯について

- ・ 最近、荒川区内で空き巣の被害が多くなっているということを聞いた。
- ・ 委員の中にも何人か空き巣の被害にあったことがある人がいる。
- ・ 旅行等、留守をする際は交番に頼むと見回りをしてくれるので活用してみたらどうか。
- ・ 警察がパトカーで巡回しているが、巡回しているだけでは空き巣に入られているかわからない。

防災について

(災害の準備・対応)

- ・ まず、様子を見るために家を離れない方が安全である。
- ・ 荷物を置かない部屋を1つ用意しておくが良い。
- ・ 災害時に3~4日位は凌げるような準備をするなど、各家庭でできる範囲のことをするべきで

ある。

- ・ 区で住宅耐震診断や補強の補助をしているので活用したらどうか。
- ・ 区民が自分の地区の避難場所を把握していない。避難場所を提示している町会もあるので、是非全ての町会で提示するようにしてほしい。
- ・ 新聞を購読していないため、区報が入らない人がいる。そのため、区報以外の情報発信方法(インターネットなど)を考えなければならない。
- ・ 個別に配布している「私の便利帳」には防災マップなど様々な情報が掲載されているので活用すべきである。
- ・ 地区ごとに区・医師会・町会・民生委員などで協議会を設け、災害時にどこで医療が受けられるのか検討し、その結果を防災マップに掲載してはどうか。
- ・ 備蓄倉庫の鍵は誰が開けるのか。また、食料はきちんと行き渡るのかどうか、災害時にしっかりと対応できるようにしてほしい。
- ・ 荒川区独自の食料の保存方法が必要ではないか。
- ・ 町会ごとに備蓄倉庫を作れば安心だが、管理が大変で実現は難しい。
- ・ ヘルメットの裏側にポケットティッシュやタオルを入れておくクッションになるだけでなく、それを使うこともできるので便利である。このような知恵を盛り込まれた便利帳を作成してはどうか。
- ・ ペット用の避難場所が欲しい。
- ・ 自分の居場所を知らせるために笛を配布してほしい。
- ・ 自分の居住地の地盤の状況を把握していれば、災害時に迅速に避難すべきかどうか、判断ができるのではないか。
- ・ ソーラーシステム・充電スポットが欲しい。

(高層マンションの問題)

- ・ 高層マンションでは、エレベータが停止した場合、はしご車も届かないため、高齢者は階段を下りることができないため避難できない。対応策としてヘリポートを設置してほしい。
- ・ マンションでは1軒の火災が大惨事に繋がる。災害時の避難方法をマンション側(自治会)徹底しようとしても、住民側の災害に対する意識が低いと問題となる。どのようにして関心を持ってもらうかの策を考えなければならない。

(防災に対する意識改革)

- ・ 様々な年代、人々に向けた啓蒙活動をするべきである。
- ・ 関心のない人にいかに関心を持ってもらうかを考えなければならない。
- ・ 防災について勉強・体験できる機会なり機関を設けてほしい。
- ・ 小さい頃から防災に関心を持ってもらうように学校で防災センターの見学会を行うなどして、教育現場と防災センターが連携して、努力をしてほしい。
- ・ 区の「防災センター」以外にも東京都の「防災館」を活用してはどうか。

(災害時の情報発信)

- ・ 災害時、情報が混乱しないように、被災者に正しい情報を届けてほしい。
- ・ 防災センターからの防災無線は聞き取りにくい。維持管理が大変だろうが、FM局を立ち上

げて荒川区内の詳細な情報を発信して欲しい。

(高齢者の問題)

- ・ プライバシーの問題もあるが、一人で逃げることのできない人(一人暮らしの高齢者や乳児がいる家庭など)を町会や民生委員が把握すべきである。
- ・ 一人暮らしの人は、近所の方に言うだけでなく交番に相談しておくのも良い。
- ・ 民生委員は人によって働きの格差がある。

ステップ3：その他

【最終報告会について】

コンサルタントより、最終報告会の日程(2月5日)をお知らせした。発表者は牛丸委員に決定した。

【次回について】

今回は、事前に配布する最終報告会のたたき台を基に議論する。

次回日程は、1月25日(水) 10:00より。

以上